

行事等

- 5月8日：獣医師賠償責任保険中央審議会
5月13日：第27回産業臨床・家畜共済委員会
5月15日：業務運営幹部会
5月16日：第3回役員候補者推薦管理委員会
5月17日：第6回女性獣医師支援対策検討委員会
5月21日：獣医事審議会計画部会に砂原・村中両副会長出席
：第2回医師会との連携推進検討委員会
5月22日：第3回家庭動物飼育環境健全化検討委員会
5月23～24日：平成30年度決算監査
- 5月24日：第1回理事会
5月26日：(一社)日本小動物獣医師会第11回定時総会に大林理事出席
5月27日：第3回獣医師国際交流推進検討委員会
：第12回獣医師生涯研修事業運営委員会
5月28日：第4回家畜衛生・公衆衛生委員会
5月29日：(公財)水と緑の惑星保全機構理事会に北村顧問出席
5月30日：畜産技術協会第1回理事会に境専務理事出席
5月31日：中央畜産会豚コレラウイルス拡散防止中央推進委員会に境専務理事出席

2019年度 日本獣医師会 獣医学術学会年次大会

期日：2020年2月7日(金)～9日(日)

場所：東京国際フォーラム

主催：公益社団法人 日本獣医師会

日本獣医師会学会学術誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会学会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者からの学会学術誌掲載の研究論文を随時募集しておりますので、奮ってご投稿願います。

学会では、獣医師専門職をはじめ、獣医学系大学の学生、獣医学関係分野の研究者等が学術研究の発表をされる場として、学会学術誌への投稿原稿を広く募集しています。

日本獣医師会が毎年度開催する獣医学術学会年次大会で一般口演された研究発表等も、是非ともご投稿いただき、誌面での発表をお願いします。

なお、投稿を希望される方は、新たに一部改正された「日本獣医師会学会学術誌投稿規程(第71巻12号725頁)」及び投稿原稿の審査や編集が円滑に行われることを目的に策定された「日本獣医師会学会学術誌投稿の手引き(本誌375頁)」を熟読の上、原稿を作成、投稿されるようお願いします。

募 集

令和元年度 帯広畜産大学「生産獣医療技術研修」募集

国立大学法人帯広畜産大学では、以下の通り生産獣医療技術研修を開催します。

目 的：生産獣医学を中心に、家畜飼養・栄養学、家畜管理学、飼料作物学、酪農経営学などを体系的に学習し、産業動物臨床獣医師の資質向上を図る。

方 法：大学での集合研修を受講者の経験年数に応じて『基礎コース』と『発展コース』に分けて実施します。さらに希望される方にはフォローアップ研修を行い、生産獣医療技術の定着を図る。

◎フォローアップ研修
 集合研修終了後に受講者自身が地元で牛群検診を実施し、血液サンプルを大学に送付して分析、返送される検査結果を受講者自身が診断してメールで大学に送付、それを添削することで、牛群検診スキルの確実な習得を目指す。

期 間：

【基礎コース】

令和元年 8月19日(月)～8月23日(金) 9:00～17:00

【発展コース】

令和元年 9月2日(月)～9月6日(金) 9:00～17:00

※最終日は両コース共に16:30終了予定。

場 所：帯広畜産大学畜産フィールド科学センター

募集人数：

【基礎コース】

牛群検診未経験の産業動物臨床獣医師(20～40名程度)

【発展コース】

同 経験を有する産業動物臨床獣医師 (20名程度)

研修内容：

日程	基礎コース (牛群検診の基本技術) 8月19日～8月23日	発展コース (牛群検診の実践技術) 9月2日～9月6日
1 日 目	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳牛の飼料・栄養に関する用語解説 ● 飼料品質鑑定法 	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳検データの評価 ● 酪農経営における疾病コストの評価
2 日 目	<ul style="list-style-type: none"> ● アニマルウェルフェアとカウコンフォート ● 乳検データの見方と活用 ＜情報交換会＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 貯蔵飼料の品質鑑定 ● 牧草の特徴と見分け方、事例発表会 ＜情報交換会＞
3 日 目	<ul style="list-style-type: none"> ● 飼料給与診断と飼料設計(CNCPS/AMTS) ● BCS, RFSの評価と活用、繁殖の最新知見 ● トワイライトセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 牛群検診現地実習 ● 飼料給与診断と飼料設計(CNCPS/AMTS)

4 日 目	<ul style="list-style-type: none"> ● 牛群検診・代謝プロファイルテストの原理と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 牛群検診・代謝プロファイルテストの診断
5 日 目	<ul style="list-style-type: none"> ● 牛群検診結果の説明 ● 総合質疑 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農家への結果説明と指導の実際 ● 総合質疑

受講料：40,000円(集合研修の教材費)または、
 77,500円(フォローアップ希望者、集合研修の教材費+フォローアップ研修の血液検査料)

支払方法：

- 払込(郵便)：申込み受付後に送付される払込取扱票により開講日の1週間前までに支払い。
 - 振込(銀行)：申込み受付後に送付される振込口座案内により、開講日の1週間前までに支払い。
- 昼 食：**弁当(800円/日)の希望者は要注文。
 弁当代は研修初日の受付時に支払い。
 注文後のキャンセルは不可。

問い合わせ先：

- 研修内容に関すること
 帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター
 (教授：木田克弥)
 TEL 0155-49-5652 FAX 0155-49-5654
 E-mail : kidak@obihiro.ac.jp
 ホームページ : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/fcasa/technical-training>

- 受付に関すること
 帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター
 (担当：藤倉, 氏家)
 TEL 0155-49-5661 FAX 0155-49-5654
 E-mail : recurrent@obihiro.ac.jp

申込方法：受講申込書に必要事項を記入のうえ、FAX
 または郵送で以下まで送付。

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
 国立大学法人 帯広畜産大学
 畜産フィールド科学センター FAX 0155-49-5654

募集期間：令和元年5月7日(火)～7月19日(金)

その他：ホテルは各自で、市内ホテル等を予約。
 JR帯広駅南側から毎日無料送迎バスを運行予定。